

ふるさと自慢（おおむらの特産品⑫）



松原鎌・松原包丁

切れ味のよさと粘り強さで知られる松原鎌と松原包丁。松原包丁は大村市のふるさと納税返礼品にもなっています。

その歴史は古く、500年前にさかのぼります。

1185年の壇ノ浦の合戦で源氏に敗れた平氏の刀工であった並衛行春

氏は、合戦に敗れた後源氏の追討を逃れて日向の国（宮崎県）に身を隠しました。1400年代になると、日本は各地の領主の勢力争いが激しくなり（戦国時代）刀剣の需要も多くなってきました。松原村郷土誌によると、「文明6年（1474）並衛氏の子孫が日向の国から、肥前の国大村（長崎県）の松原に来て八幡神社の境内で刀を鍛え、また、農民の要望に応じてこの時に初めて月型の鎌が造られた」と記してあります。

往時の松原には湧水があり、背後に燃料となる木炭の産地が控えていました。松原の八幡神社の別当（*平安朝以後江戸時代まで親王家・摂関家・大臣家・社寺などの特別な機関に置かれた長官。特に、検非違使（けびいし）庁長官のことをさす）であった日向の伊東家が技術を受け継いで宗家となり、職人が伊東家で技を習得し広まったと伝わっています。

武家社会が終わり刀の需要が減りはじめると、余業の鎌や小刀、包丁、鋏（くわ）などの製造が盛んになり、昭和の始めごろは旧満州（現・中国東北部）にも出荷するほどの全盛期を迎えました。当時は20数件の鍛冶屋がありました。

昭和30年ごろ9軒で松原工業鎌組合を作り、平成3年には県指定伝統的工芸品となりました。

それまでの製造割合は鎌7対包丁3でしたが、いまは包丁が主流となっており、現在は田中、朝長、林田の3家が操業しています。

長崎街道の松原宿にいまも残る歴史と伝統の技は大村の誇りであり、自慢でもあります。（参考：大村市HP他）

秋の読書週間

10月27日(日)～11月9日(土)

読書週間が始まったのは、第二次世界大戦が終わって間もない1947年（昭和22年）です。日本の各地にはまだ戦争の傷跡が残っていました。

そんな中、「読書の力によって平和な文化国家を創ろう」と、出版社・取次会社・書店、公共の図書館が中心となって、第1回の読書週間が開催されました。読書週間できっかけに読書の素晴らしさに触れてもらいたいという願いのもと国民的行事として定着しています。今年が73回目の開催です。

毎年公募の中から選ばれる読書週間の標語、今年は、「おかえり、葉の場所で待てるよ」です。

日々の時間と環境は、時には私を置いて行ってしまうほど早く過ぎ去ってしまうときもあるけれど、ほっと開いた本の世界は、私の帰りを待ってから進んでくれる…。

標語をつくられた水口真優子さんのことばです。

みなさんも、1日10分でも読書の時間をつくってみませんか。



祝日の意味

11月3日は「文化の日」

自由と平和を愛し、文化をすすめる日です。

11月23日は「勤労感謝の日」

勤労をたつとび、生産を祝い、国民たがいに感謝しあう日です。

一日婦人議会

生活学校の視点から、女性の声を行政に

日時 11月19日(火) 9:30～12:00

場所 市コミセン大会議室

問合せ 市コミセン ☎54-3161



ココロねっこパレード IN おおむら

期 日:11月9日(土)

時 間:10時～12時

集合場所:大村市コミュニティーセンター

* 多くの市民の皆さまの参加をお願いいたします。



子ども科学館教室

11月の日程

楽しい教室です。

皆さんの参加をお待ちしています！

開催日	教室名	時間
2日(土)	おりがみ教室	10:00～
3日(日)	押し花教室	10:00～
9日(土)	ミニ実験教室	10:30～
10日(日)	木工教室	10:00～
	※4年生以上 先着10人	
16日(土)	竹細工教室	10:00～
17日(日)	バルーンアート教室	10:00～
23日(土)	科学工作教室	14:00～
24日(日)	子ども映画会	10:00～

※場所は、いずれも 子ども科学館 です。

問合せ 社会教育課 ☎54-3161

11月の補導巡視活動(大村地区) ☆ ありがとうございます ☆

大村地区	三城地区	旭が丘・東大村地区
11/8(金) 市民交流プラザ	11/23(土) 市民交流プラザ	11/7(木) コレモ大村
11/22(金) イオン大村店		11/21(木) コレモ大村
いずれも 18:30	19:00	いずれも18:30



発行：社会教育課
大村市幸町25-33
☎54-3161
(市コミセン内)